

**Autoジョブ名人 Ver.4.0**  
**Autoブラウザ名人 Ver.10.0**  
**バージョンアップご説明資料**

2020年09月24日



# 名人+(Plus)のご案内



## 名人+ (Plus)

**シナリオ開発のテクニックが満載！ 相談はいつでもOK！**

RPAの相談ができるコミュニティサイトです！  
RPAの導入コラムからサンプルスクリプトの配布まで  
コンテンツも様々ご用意してますので  
ぜひチェックしてください！

<https://usknet.commmune.com>



こちらからもアクセスできます！

# バージョンアップについて

Autoジョブ名人 Ver.4.0  
Autoブラウザ名人 Ver.10.0

## 目玉

- ・ バージョンアップ簡易化
- ・ 動画撮影機能の追加 (Autoジョブ名人のみ)
- ・ 画像認識機能の拡張

# Contents

1. バージョンアップの簡易プログラム
2. 動画撮影機能（スクリーンレコーダー）の追加
3. 画像認識機能の拡張
4. フォーカス解析
5. 条件スクリプトの拡張
6. 機能アップ/要望対応
7. その他

# Contents

1. **バージョンアップの簡易プログラム**
2. 動画撮影機能（スクリーンレコーダー）の追加
3. 画像認識機能の拡張
4. フォーカス解析
5. 条件スクリプトの拡張
6. 機能アップ/要望対応
7. その他

# 1. バージョンアップの簡易プログラム

**同一端末内でのバージョンアップが簡単に出来るように！**

今までは...

- 【1】 スクリプト設定の抽出
- 【2】 旧バージョンの製品をアンインストール
- 【3】 新バージョンの製品をインストール
- 【4】 データベースの更新
- 【5】 動作確認

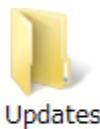
正直、面倒！  
インストール等で  
待ち時間が  
発生していた...

これからは！

インストーラが入っているフォルダ内の「**VersionUp.exe**」を起動するだけ！  
上記【1】～【4】のプログラムが自動的に起動されます。



ja-JP



Updates



AJSetup.  
msi



SetupAuto  
Job.exe



SQLEXPRESS\_x64\_JPN.e  
xe



VersionUp.  
exe

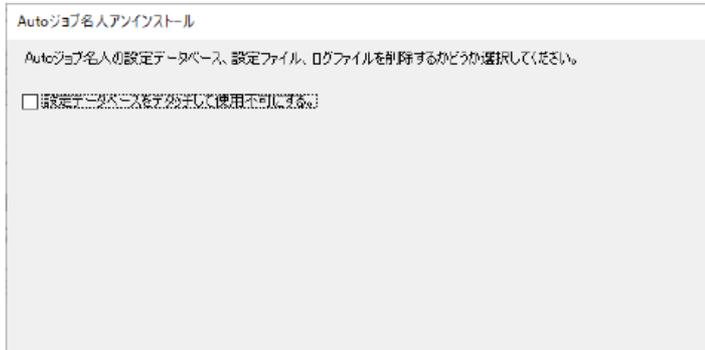
# 1. バージョンアップの簡易プログラム

## VersionUp.exe 画面①

- ① データベースの退避・スクリプト設定の出力を行うか設定
- ② データベースの退避先フォルダパスを指定
- ③ 既にインストールされている旧バージョンの製品を表示
- ④ 既にインストールされている製品のインストールフォルダを表示
- ⑤ 新バージョンの製品が表示
- ⑥ 新バージョンの製品のインストールフォルダを設定  
※旧バージョンと同じフォルダを表示  
初期値 [C:\Program Files (x86)\AutoJob]
- ⑦ バージョンアップを開始
- ⑧ プログラム終了

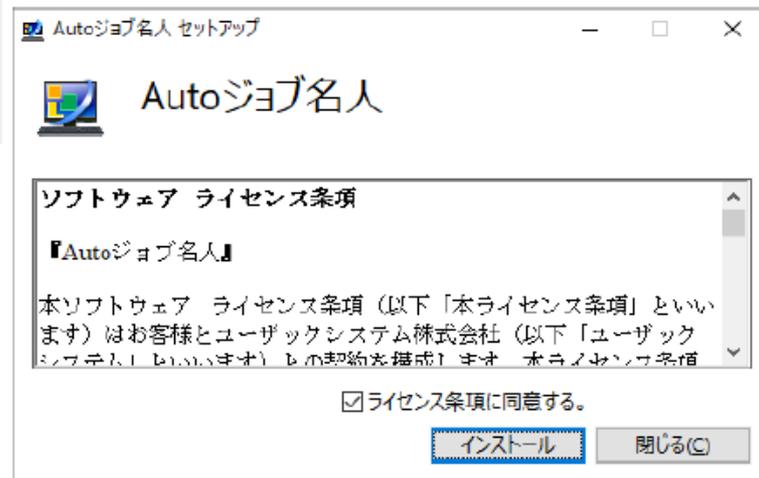
# 1. バージョンアップの簡易プログラム

## VersionUp.exe 画面②



- 【1】 スクリプト設定の抽出
- 【2】 旧バージョンの製品をアンインストール

※既にインストールされている製品がない場合  
これらの手順はスキップして実行されます。

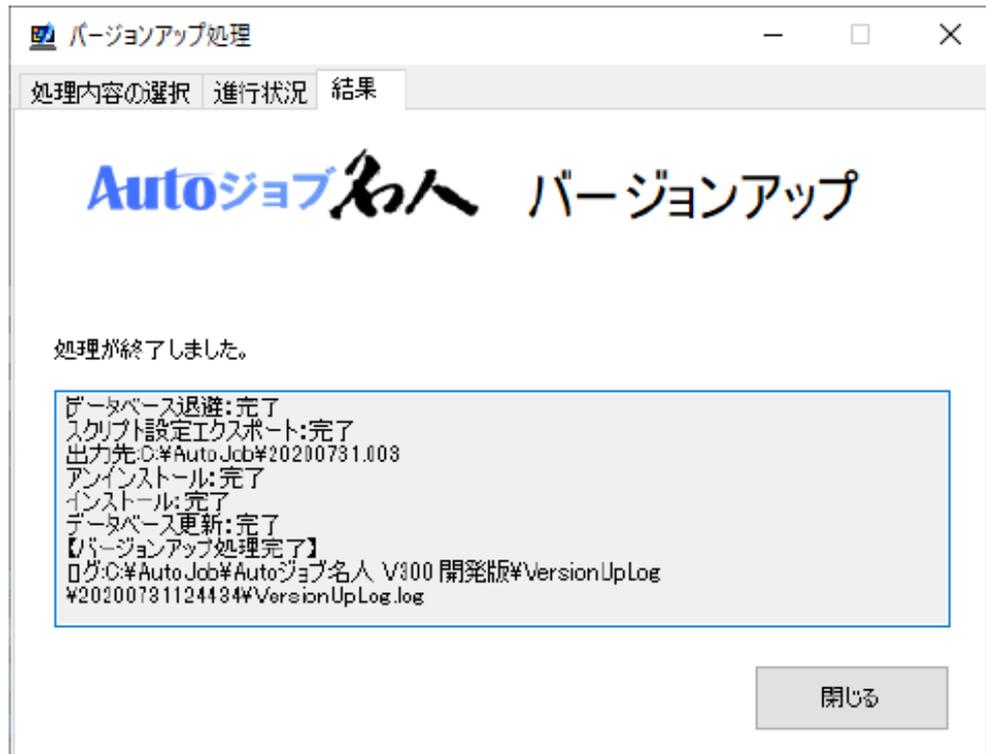


### 《注意》

旧バージョンのアンインストール時、  
デタッチ確認とライセンス条項の同意確認を  
自動で行うことはできません。  
手動での操作をお願い致します。

# 1. バージョンアップの簡易プログラム

## VersionUp.exe 画面③



- 【3】 新バージョンの製品をインストール
- 【4】 データベースの更新

終了すると各情報が表示されます。  
エラー内容なども  
この画面に表示されます。

「閉じる」ボタンを押すと  
プログラムが終了します。

- 【5】 動作確認
- 実際にスクリプトを実行し、  
問題がないことを確認してください。

バージョンアップ時のログは以下のパスに出力されます。

出力先: [バージョンアッププログラムフォルダ]¥VersionUpLog¥[開始時刻]¥VersionUpLog.log

出力先は終了時のメッセージにも記載されます。

1. バージョンアップの簡易プログラム
2. **動画撮影機能（スクリーンレコーダー）の追加**
3. 画像認識機能の拡張
4. フォーカス解析
5. 条件スクリプトの拡張
6. 機能アップ/要望対応
7. その他

### スクリプト再生中の画面を録画することが可能に！

今までは...

- ・エラーが起きたらログ頼り
- ・ログを見ても動作時の状況が分かりにくい
- ・Autoジョブ名人はエラー時に画面キャプチャが撮れるがキャプチャだけではエラー原因が分からない
- ・サポート担当者に状況を共有しにくい

なんでエラーになってるの！？  
もっと簡単に  
状況確認したい...

これからは！

録画することで**再生当時の状況を後から確認**することができる！

スクリプト設定 | メール設定 | デバッグログ設定 | ファイル監視設定 | 実行指示CL | **録画設定**

① 録画設定

- スクリプト再生時に録画を行う
- スクリプト再生時に録画を行い、エラー時のみ録画ファイルを保存する
- 録画しない

②  テスト再生時に録画する

**保存期間は1日単位で指定可能！**  
**ディスクの圧迫は最小限に！**

**テスト再生時にも録画可能！**

## 2. 動画撮影機能の追加

Autoジョブ名人のみ

### テスト再生時に録画ができるメリット



マニュアル用に動画を撮影する  
※編集は別途編集ソフトが必要です

- ① 完成したスクリプトをテスト再生することで**動画マニュアルとして撮影**が可能！
- ② **中間レビューにも使用可能**！「こんな動作であってますか？」を簡単に共有
- ③ **問い合わせ時に大活躍**！弊社SEも事前にレビューしやすい

## 録画機能の設定 ①

### ◆初期設定

スクリプト設定 | メール設定 | デバッグログ設定 | ファイル監視設定 | 実行指示CL | **録画設定** | その他

① 録画設定

- スクリプト再生時に録画を行う
- スクリプト再生時に録画を行い、エラー時のみ録画ファイルを保存する
- 録画しない

②  テスト再生時に録画する

③ 録画ファイルのファイル形式  AVI  MP4

④ 録画解像度

⑤ 録画ファイル保存期間  日

⑥  録画後にプログラムを起動する

パス

引数

作業フォルダ

- ① 録画設定  
スクリプトの再生時に録画するかを選択
- ② テスト再生時に録画する  
テスト再生時に録画するかの初期値を設定
- ③ 録画ファイルのファイル形式  
録画ファイルの拡張子を選択
- ④ 録画解像度  
デフォルト：録画する環境と同じ解像度で録画  
ハーフ：録画する環境の半分の解像度で録画
- ⑤ 録画ファイル保存期間  
ここで指定した期間を過ぎると、  
スクリプトの再生時に自動的に削除、  
ゼロを指定すると自動的に削除を行わない
- ⑥ 録画後にプログラムを起動する  
チェックを付けると、録画終了後に  
ここで指定したプログラムを起動できる  
※ファイルコピーで好みの場所に配置したり  
動画をトリミングする等が可能

### 録画機能の設定 ②

#### ◆初期設定

《補足》 「録画後にプログラムを起動する」で録画したファイルを任意の場所へコピーしたり、トリミングなどを行うことができます。

録画ファイルの指定や出力フォルダの参照には以下の予約語が利用できます。

予約語	説明
%RecordingFile%	出力された録画ファイルパス
%ScriptLog%	実行ログ格納フォルダパス ※録画ファイルは実行ログと同じフォルダに出力されます。

例) 録画ファイルを任意のフォルダにコピーする

パス	C:¥WINDOWS¥system32¥cmd.exe
引数	/C copy %RecordingFile% (任意のフォルダ)¥output.avi

例) ffmpeg を用いて録画ファイルの最後から 5 秒のみ保存する

ffmpeg のダウンロード : <https://ffmpeg.zeranoe.com/builds/>

パス	(格納先)¥ffmpeg.exe
引数	-sseof -5 -y -i %RecordingFile% (任意のフォルダ)¥output.mp4

## 2. 動画撮影機能の追加

Autoジョブ名人のみ

### 録画の確認方法

#### ◆実行ログ参照

	実行ログ...	実行ログ...	スクリプトコード	スクリプト名	③ 詳細	④ ログ	⑤ 画像	⑥ 録画
▶ 1	2020/06/29	16:42:51	301	受注データダウンロード	表示	取得	表示	再生
2	2020/06/29	16:36:21	301	受注データダウンロード	表示	取得	表示	再生
3	2020/06/29	16:29:16	301	受注データダウンロード	表示	取得	表示	再生
4	2020/06/29	16:07:08	301	受注データダウンロード	表示	取得	表示	再生
5	2020/06/29	15:49:26	301	受注データダウンロード	表示	取得	表示	再生
6	2020/06/29	15:48:51	301	受注データダウンロード	表示	取得	表示	再生

スクリプト再生時に録画を行った場合、

**「再生」ボタンから録画したファイルを再生することができます。**

# Contents

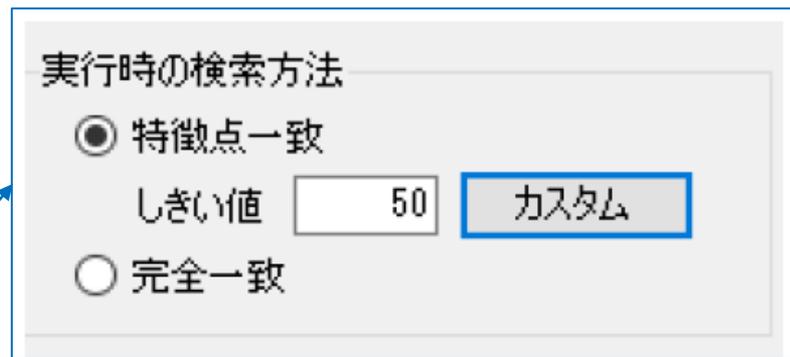
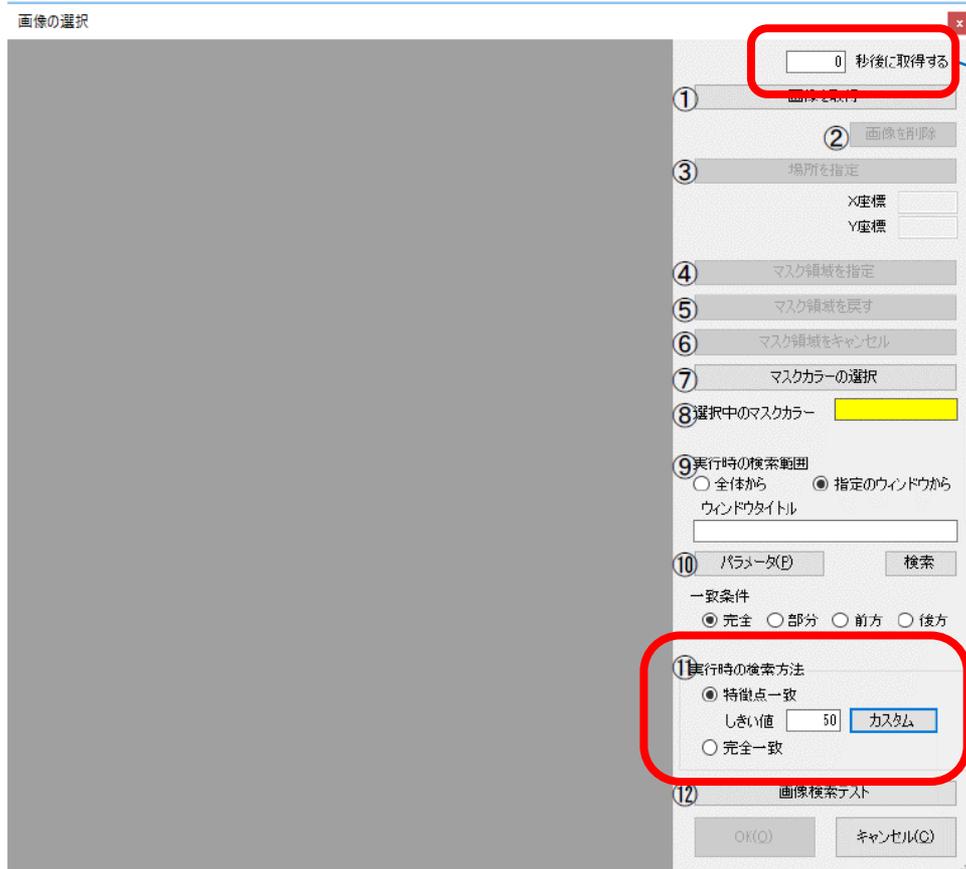
1. バージョンアップの簡易プログラム
2. 動画撮影機能（スクリーンレコーダー）の追加
3. **画像認識機能の拡張**
4. フォーカス解析
5. 条件スクリプトの拡張
6. 機能アップ/要望対応
7. その他

### 3. 画像認識機能の拡張

画像を取得する時に**遅延取得**が可能に！

**特徴点の一致による検索**（あいまい検索）が出来るように！

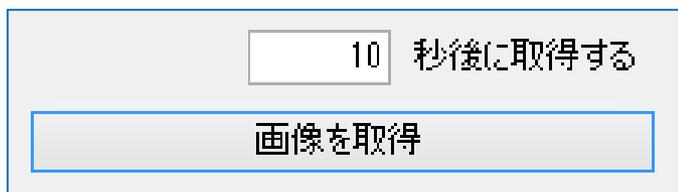
▼画像の設定画面



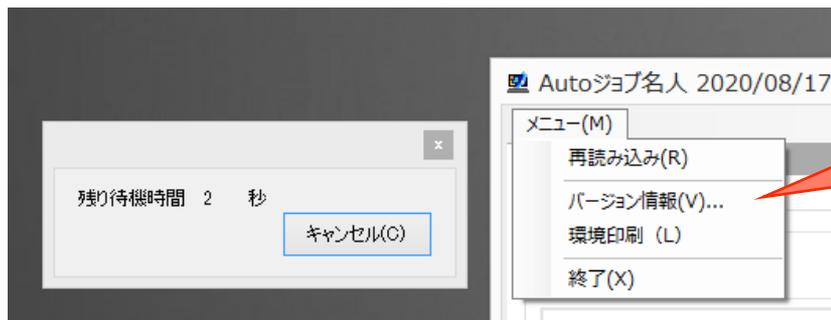
# 3. 画像認識機能の拡張

## ◆ 画像の遅延取得

撮影モードにするまでに待機時間を設けることで、  
**メニューバーの中や右クリック時のリストなども画像取得が可能になりました！**



▼ 画面上に秒数が表示されます。



必要な画面が  
開かれた状態で  
画像取得できる！

《補足》

撮影モードになったタイミングで画面全体のキャプチャを撮り、それを画面に表示しています。

※Windows+Shift+S でのキャプチャと同じ仕組みです。

# 3. 画像認識機能の拡張

## ◆特徴点一致

今までは...

- ・ 100%の一致でしか画像認識できない
- ・ 多少の欠けやサイズ、画面解像度の変化に耐えられない
- ・ 人には同じに見える画像でも認識されないことがある

自動化しても  
画像認識が  
安定しない！

これからは！

100%一致以外にも、**画面を区別できる要素**を見つけて判断する  
**「特徴点一致」検索が可能になりました！**

実行時の検索方法

特徴点一致

しきい値

完全一致



拡大率や  
背景の違いも  
吸収可能に！

※特徴点とは、例えば文字の折れ線やボックスの角など画面の特徴的な要素を指します。

# 3. 画像認識機能の拡張

## ◆特徴点一致

「画像検索テスト」から複数の「しきい値」での結果が確認できます。

例)

受注入力

ファイル(E)

入力区分  新規  修正  参照作成

受注日

地区

受注担当

受注先

件名

No.	商品コード	商品名	数量	単位	単価	金額
▶ 01						

画像取得

以下の状態で「画像検索テスト」を押下

画像の選択

受注No.

A text input field containing a red plus sign (+).

# 3. 画像認識機能の拡張

## ◆特徴点一致

検索結果として以下のようなウィンドウが現れます。

検索結果

受注入力

ファイル(F)

入力区分  新規  修正  参照作成

受注No.

受注日

地区

受注担当

受注先

件名

No.	商品コード	商品名	数量	単位	単価	金額
▶ 01						
合計						

土日納品  可

納期

備考

しきい値

見つかりました  
しきい値:50 拡大率:150 余白:25

赤枠：  
認識された領域

十字：  
指定された場所

しきい値：  
指定されたしきい値の  
**-10、-5、0、+5、+10 の  
結果を1回の検索で  
同時に確認**できます

結果：  
見つかった時は結果を、  
**見つからなかった時は  
具体的な対応方法を  
表示**します

見つかりませんでした  
特徴点<sup>①</sup>が一致する箇所が多数あり、特定できません  
[対応]  
①「実行時の検索範囲」でウィンドウを指定する  
②しきい値を+5にする

# 3. 画像認識機能の拡張

## ◆特徴点一致

「しきい値」「拡大率」「余白」の3つのパラメータで画像を検索します。

実行時の検索方法

- 特徴点一致
- しきい値  **カスタム**
- 完全一致

カスタム

しきい値 0  100

拡大率 100  300

余白 0  50

OK(O) キャンセル(C)

項目	説明	指定可能値
しきい値	特徴点を認識する強さを指定できます。 大きすぎる値を指定すると、関係ない場所も認識しようとするため、画像認識の精度が下がる可能性があります。 逆に小さすぎると、画像認識ができず見つからない可能性も出てきます。 "50"近辺で設定することを推奨します。	0-100
拡大率	画像認識の精度を向上するため、内部的に画像を拡大してから検索します。 その拡大率を指定することができます。 画像が見つからない場合に数値を上げると見つかりやすくなる場合があります。	100-300
追加余白	追加余白を指定することで、画像の端の特徴点を取得しやすくなります。 うまく動作しない場合は小さな値からセットしてみてください。	0-50

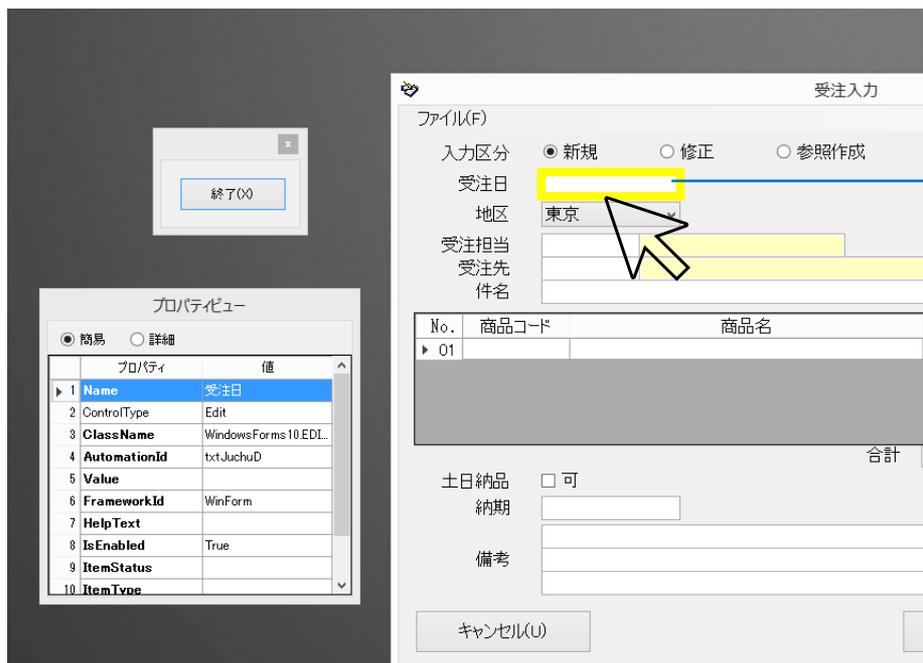
1. バージョンアップの簡易プログラム
2. 動画撮影機能（スクリーンレコーダー）の追加
3. 画像認識機能の拡張
4. **フォーカス解析**
5. 条件スクリプトの拡張
6. 機能アップ/要望対応
7. その他

# 4. フォーカス解析

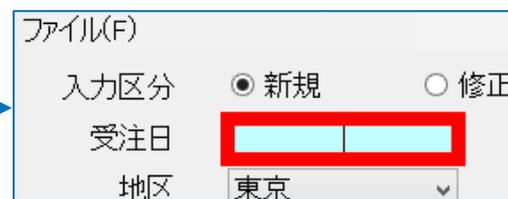
Autoジョブ名人のみ

## ◆フォーカス解析

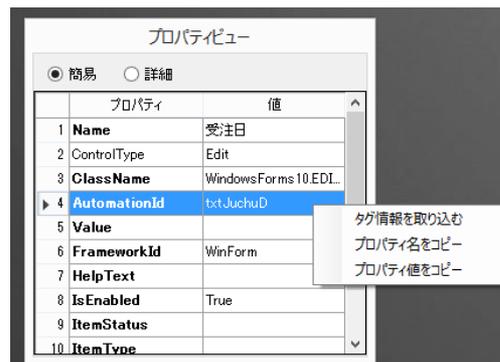
全体を解析しなくても**個別でアプリのタグ情報を取得できる機能**です！



▼記録キー(初期値Pause)でタグを指定すると赤枠に



▼一意となるプロパティを選択して取り込む



▼スクリプト編集画面からも起動可能



# 4. フォーカス解析

Autoジョブ名人のみ

「アプリ指定記録」をプログラムとして独立させ、  
連携しやすくしました！

(プログラム名：abFocusAnalysis.exe)



# Contents

1. バージョンアップの簡易プログラム
2. 動画撮影機能（スクリーンレコーダー）の追加
3. 画像認識機能の拡張
4. フォーカス解析
5. **条件スクリプトの拡張**
6. 機能アップ/要望対応
7. その他

# 5. 条件スクリプトの拡張

- **Public/PrivateString** で改行コードが保持できるように！
- 条件スクリプトを単行毎ではなく**全行一括**で実行可能に！
- 条件スクリプトの**構文チェック**が可能に！

## ◆初期設定

詳細設定

A) 実行ログコード

B)  Public/PrivateStringで改行コードを保持する

C)  条件スクリプトの実行を単行ごとではなく全行一括で行う

- Public/PrivateString で改行コードを保持する  
⇒**チェックすると改行コードを保持可能！**  
チェック無し時は改行コードは削除
- 条件スクリプトの実行を  
単行ごとではなく全行一括で行う  
⇒**条件スクリプトの内容によっては  
今まで必要だった行末の”:(コロン)”が  
不要になります**

## ◆スクリプトのプロパティ

Public/PrivateStringで改行コードを保持する

初期設定に従う

保持しない

条件スクリプトの実行を単行ごとではなく全行一括で行う

初期設定に従う

行う

# 5. 条件スクリプトの拡張

## ◆条件スクリプト構文チェック(単行/全行ともに)

### ▼『条件スクリプトエディタ』画面

The screenshot shows a window titled '条件スクリプトエディタ' (Condition Script Editor). At the top, there are tabs for '文字列', 'PublicString', 'PublicNumber', 'PrivateString', and 'PrivateNumber'. Below the tabs is a text input field and navigation buttons '<<' and '>>'. The main area is a code editor containing the following script:

```
Dim I
Dim HtmElement
RET = False
Set HtmElement = DocHtml.frames.item(1).document.all
For I = 0 To HtmElement.length - 1:
  If Ucase(HtmElement(I).tagName) = "INPUT" Then
    If HtmElement(I).Name = "UID" Then
      HtmElement(I).click
    Exit For
  End If:
Next
```

At the bottom left of the editor, there is a button labeled '簡易チェック' (Simple Check).

簡易チェックで問題がなくても、スクリプト再生でエラーが発生することがあります。あくまでも文法の簡易チェックとなりますので、条件スクリプトで利用できるユーザー関数のチェックや、変数の整合性はチェックできません。

### ▼文法的に問題が無かった場合

**簡易チェック** コードのチェックが成功しました。

### ▼文法的に問題があった場合

**簡易チェック** 構文エラーです。 Line=5, Position=175  
...ment(I).Name= "UID" Then                    HtmElement(I).click                    Exit For:                    End If:                    E...

※ ④の「続く」にチェックが入っている行で文法エラーがあった場合は、1セットがそのまま1文として表示されます。

# 5. 条件スクリプトの拡張

## 《補足》

最新版の初期設定において、**初期値は全行一括で行う状態**です。

条件スクリプトの実行を単行ごとではなく全行一括で行う

バージョンアップの影響を少なくするため、

**旧バージョンからスクリプトを移行する場合はスクリプトのプロパティにて「単行ごとに実行する」よう固定値に設定**されます。

条件スクリプトの実行を単行ごとではなく全行一括で行う

詳細情報の設定を使用する ▼

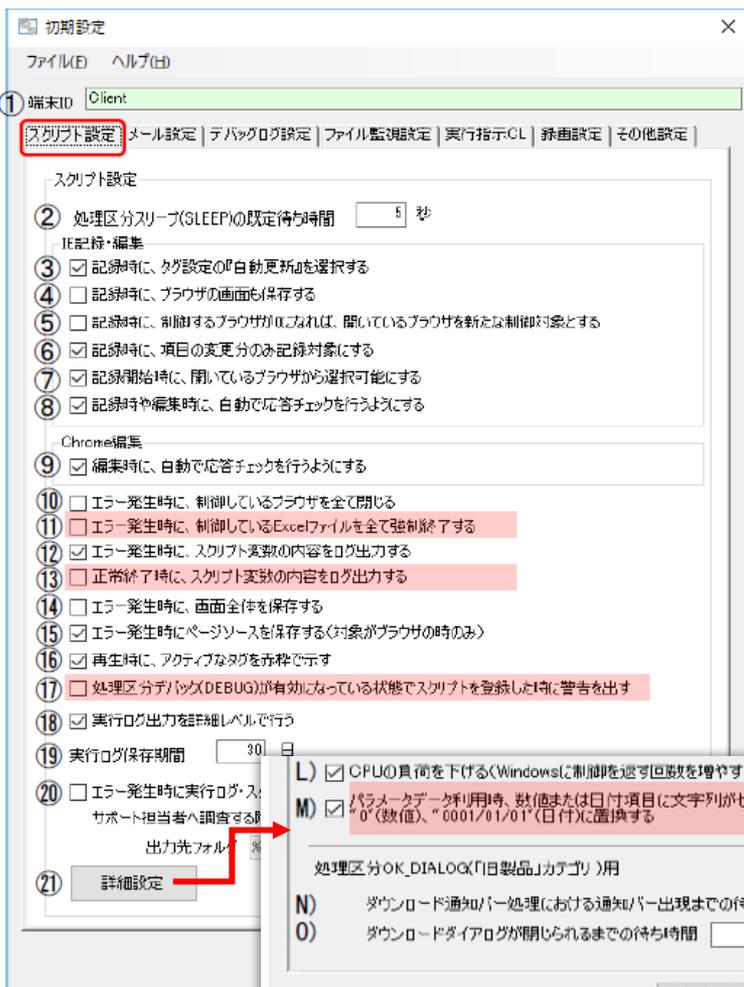
行わない ▼

# Contents

1. バージョンアップの簡易プログラム
2. 動画撮影機能（スクリーンレコーダー）の追加
3. 画像認識機能の拡張
4. フォーカス解析
5. 条件スクリプトの拡張
6. 機能アップ/要望対応
7. その他

# 6. 機能アップ/要望対応

## ① 初期設定

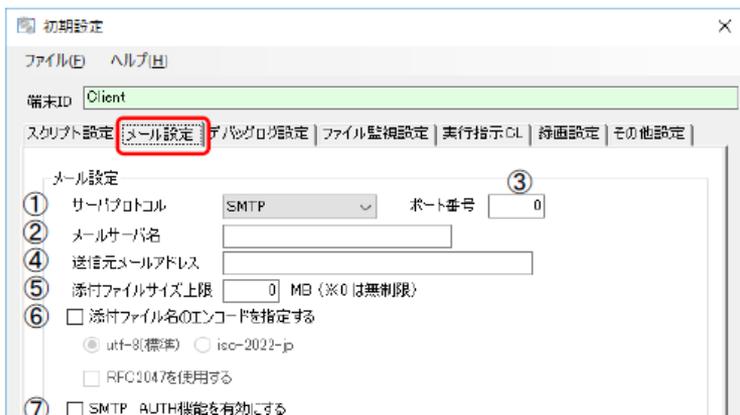


## 【スクリプト設定】

- エラー発生時に制御しているエクセルファイルを  
全て強制終了する  
※保存はされません  
⇒エラー時にExcelが画面に残らなくなるため、  
次のスクリプト実行時の影響が少なくなります
- 正常終了時にスクリプト変数の内容をログ出力する  
⇒テスト時や正常時の動作確認で利用できます
- 処理区分デバッグ (DEBUG) が有効になっている  
状態でスクリプトを登録した時に警告を出す
- パラメータデータ利用時、  
数値または日付項目に文字列が  
セットされた場合、エラーにせず  
"0" (数値)、"0001/01/01" (日付) に  
置換するか選択可能に

# 6. 機能アップ/要望対応

## ①初期設定



### 【メール設定】

- 添付ファイル名のエンコードを指定する  
エンコードは utf-8 もしくは iso-2022-jp 、  
エンコード方式も設定可能に  
⇒メールサーバーによっては  
**添付ファイル名が文字化けしてしまう現象を  
簡単に解決することができます**  
※チェック無し時：utf-8



### 【ファイル監視設定】

- 検知ファイルの退避先フォルダ  
⇒ファイル監視設定にて指定したファイル及び  
フォルダが検知された際の退避先を入力します

### 《補足》

標準の退避先が今回から変更になりました。  
旧) %InstallPath%\¥FileMonioter  
新) C:\¥AutoMJFileMonitor

# 6. 機能アップ/要望対応

## ① 初期設定

初期設定

ファイル(F) ヘルプ(H)

端末ID Client

スクリプト設定 | メール設定 | デバッグログ設定 | ファイル監視設定 | 実行指示OL | 録画設定 | その他設定

スケジュール設定

①  スケジュール実行終了時に確認ダイアログを出す

② キュー画面の更新時間  秒

タグ解析ビューア設定

③  ソースコードビューを初期ビューとする(対象がIE・Chromeの時のみ)

④  枠線を詳細表示する

⑤ IEバージョン IE11 (11001)

⑥ パラメータ設定

共通パラメータ文字列

個別パラメータ文字列

共通マスクパラメータ文字列

個別マスクパラメータ文字列

⑦ フォーカス解析/アプリ用スクリプト簡易作成モード

記録キー

⑧ 連携設定

他の名人シリーズの変換機能と連携する  PtoE変換オプションを有効にする

⑨ 処理区分: 外部プログラム起動(SHELL)/アプリを起動する(OPEN\_WIN)の動作設定

作業フォルダの初期値をインストールフォルダにする

⑩ Chrome設定

ChromeDriverを更新する  バージョン

## 【その他設定】

### ・ パラメータ設定

⇒個別マスクパラメータの追加に伴い、設定枠を追加しました

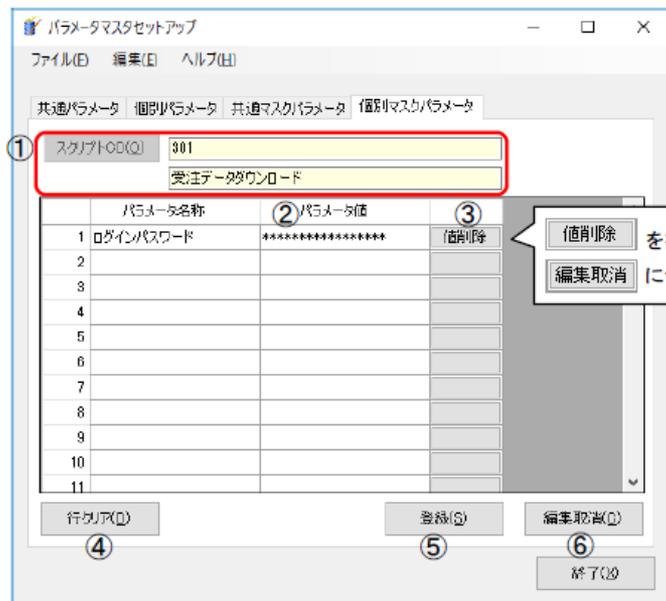
### ・ Chrome設定

⇒現在インストールされているChromeDriverのバージョンが確認できるようになりました

# 6. 機能アップ/要望対応

## ②パラメータマスタセットアップ

- ・ **個別マスクパラメータを追加！**



より柔軟な  
セキュリティ対策  
が可能に！

- ・ 呼び出し引数を追加

項目	使用方法	説明
実行ファイル	abParameterSetting.exe	【パラメータマスタセットアップ】を起動します。
処理指定	/scriptcode	指定されたスクリプトの個別パラメータを開きます。
	/scriptcode_mask	指定されたスクリプトの個別マスクパラメータを開きます。

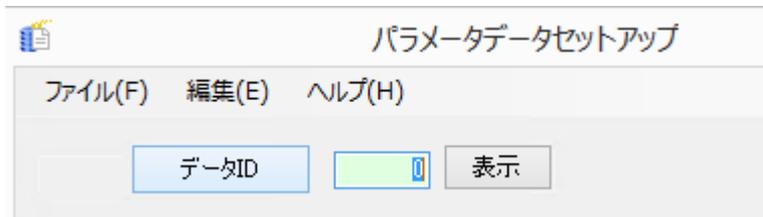
例)

abParameterSetting.exe /scriptcode="123"

# 6. 機能アップ/要望対応

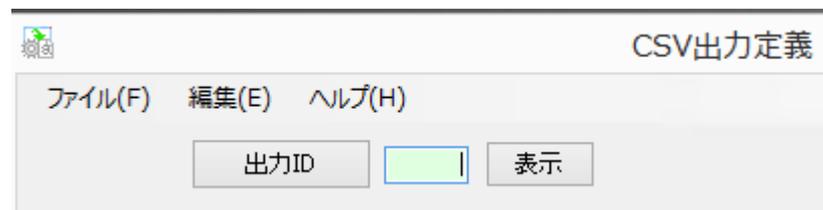
## ③パラメータデータセットアップ

- ・「表示」ボタンを追加

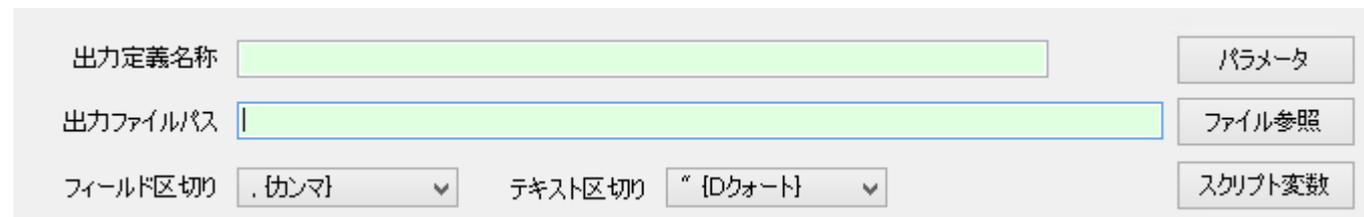


## ④CSV出力定義

- ・「表示」ボタンを追加



- ・「スクリプト変数」ボタンと「ファイル参照」ボタンの順番を変更



# 6. 機能アップ/要望対応

## ⑤ スクリプト編集 スクリプトのプロパティ

スクリプトのプロパティ

基本情報		詳細情報	録画情報
スクリプトコード	1		
スクリプト名	新しいスクリプト		
更新日時	2020/06/30 13:43:46		
画面作成日時			
エラー時起動プログラム		プログラムの選択	
エラープログラム作業フォルダ		フォルダーの参照	
エラープログラム引数			
エラー時終了プログラム		プログラムの選択	
最大稼働時間(分)	0	分	
ログ送信先アドレス			
ナビゲートエラーフラグ	全てエラーとして終了する		
ナビゲートエラーリトライ回数	0	回	
実行ログ出力レベル	初期設定に従う		
出力結果メール	初期設定に従う	詳細設定	
処理区分の表記	日本語		
テスト再生前起動プログラム		プログラムの選択	
テスト再生後起動プログラム		プログラムの選択	

□ 開発中

※注意  
ユーザー関数を利用する場合は、“%”で区切って利用する必要があります。例)%User Function(Args 1)%  
また、ユーザー関数を“”で区切っても文字列扱いにはなりません。

### ・エラー時終了プログラム

エラーが発生した後に  
プロセスを終了したい  
プログラムを指定します。

### ・テスト再生前起動プログラム

テスト再生にて  
スクリプトを再生する前に  
起動したいプログラムを指定します。

### ・テスト再生後起動プログラム

テスト再生にて  
スクリプト再生が終わった後に  
起動したいプログラムを指定します。

# 6. 機能アップ/要望対応

Autoジョブ名人のみ

## ⑤ スクリプト編集 スクリプトのプロパティ



### ・ 録画情報

初期設定に合わせて  
タブ 1 種および  
項目 3 種追加

プロパティ項目	説明
スクリプト再生時に録画する	スクリプト再生時に録画するかの設定ができます。
録画解像度	録画時の解像度を設定できます。
テスト再生時に録画する	テスト再生時に録画するかの初期値を設定することができます。 テスト再生開始画面で実際に録画するかの設定をします。

# 6. 機能アップ/要望対応

## ⑤ スクリプト編集 タグ検索

タグ設定 ×

指定方法  自動更新  直接指定

タグ名

フレームインデックス

1つ目の条件

検索文字

一致条件  完全  部分  前方  後方

検索項目

- ・ 一致条件を追加

今までの「完全」「部分」に  
**「前方」「後方」を追加**

⇒ **よりタグ検索がしやすくなりました！**

## 6. 機能アップ/要望対応

### ⑤ スクリプト編集 IE/Chrome処理区分変換



IE基本操作 を Chrome基本操作 に、あるいは  
Chrome基本操作 を IE基本操作 に  
それぞれ**対応する処理区分に自動変換**します。  
それ以外の処理区分は無視されます。

⇒ **IE から Chrome に処理を乗せ換えるときに  
便利にご利用いただけます！**

※Chromeにない要素（タグインデクス等）は  
Chrome基本操作に切り替えた際に破棄されます。  
**変換後は必ず動作確認を実施してください。**

**ボタンひとつ！  
操作簡易化により  
IE終息の対応に  
一歩踏み出せる！**

# 6. 機能アップ/要望対応

## ⑤ スクリプト編集 テスト再生

① テスト再生開始(M)

スクリプトコード	スクリプト名	最終更新日時	開発中	再生用
Sample_01011_JE_OrderDL-CSV	サンプル_JE011_発注データ一括受信(csv)	2020/07/07 16:12:25		

② 制御中の状態 変更(D)

③ 前回の内容 セット(P)

④ クリア(C)

常に前回の内容をセットする  
編集画面を開くと前回の内容はリセットされます。

⑤ 行番号  
一時停止   
再生再開   
(行番号: 1~17)

⑦ 再生前後起動プログラム  
 有効  無効  
前プログラム起動の  
 秒後に再生する

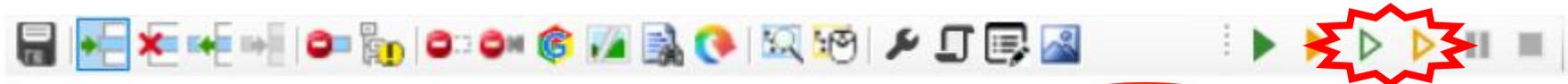
⑧  マニュアル用に動画を撮影する  
※編集は別途編集ソフトが必要です

- **常に前回の内容をセットする**  
チェックを入れると毎回自動で前回の内容がセットされる状態に  
※編集画面を閉じると内容がリセットされます
- **再生前後起動プログラム**  
テスト再生を行う前後に「スクリプトのプロパティ」で指定したプログラムを起動することが可能に
- **マニュアル用に動画を撮影する**  
**テスト再生時にも動画の撮影が可能に！**  
※動画の編集機能はございません

# 6. 機能アップ/要望対応

## ⑤ スクリプト編集 ステップ再生

スクリプト編集画面から、作成中のスクリプトを1行ずつ停止させながら再生することができます。



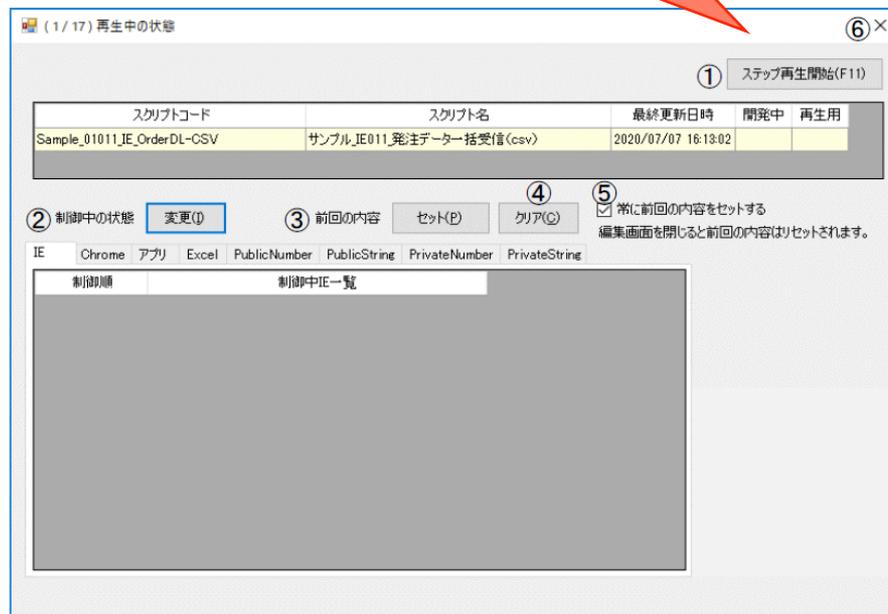
- ① ステップ再生  
スクリプトの1行目からステップ再生を行います。
- ② 選択行をステップ再生  
再生したい行を選択し、ステップ再生を行います。  
連続する複数の行を指定することもできます。

1行ごとに  
動作確認が  
可能に！

### 《補足》

行ごとに右画面が出現します。

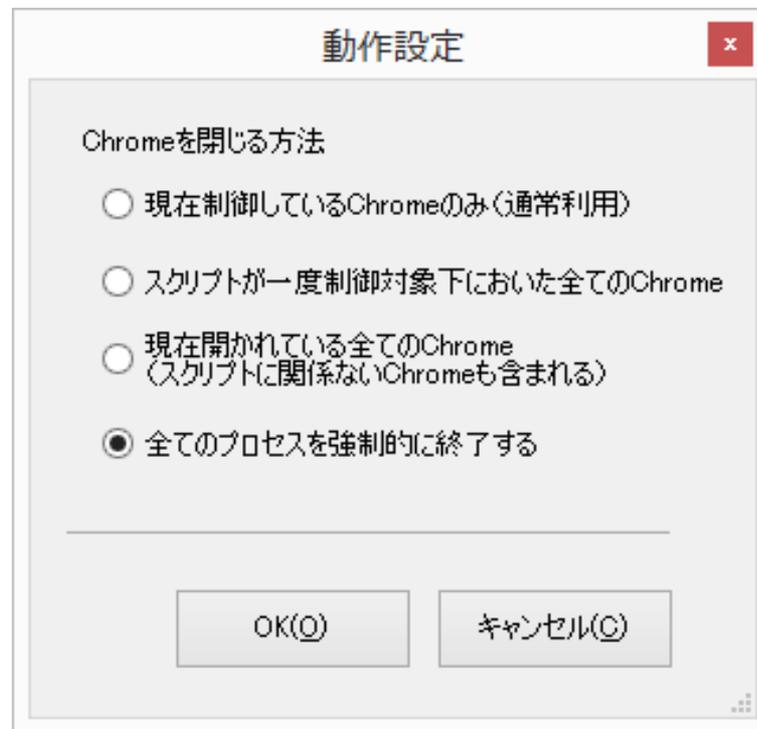
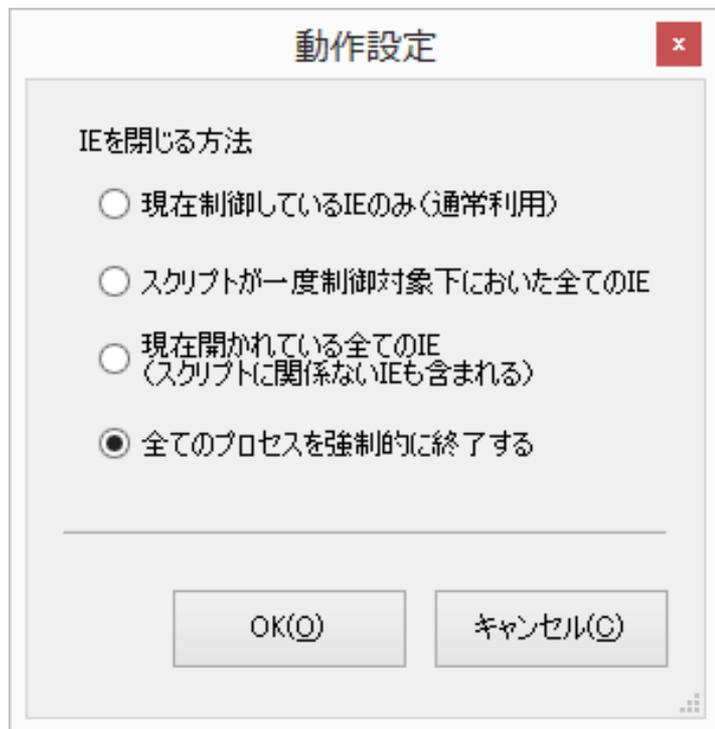
この画面が現れる直前にアクティブだった操作対象を記憶し、行を進める際には一旦それをアクティブにしてから再生を再開します。操作対象や変数の変更も可能です。



# 6. 機能アップ/要望対応

## ⑤ スクリプト編集 処理区分 (機能アップ)

- ・ CLOSE処理区分、CLOSE\_CHROME処理区分



**プロセスを強制的に終了する選択肢を追加しました！**  
何らかの原因で閉じられずエラーになる現象を回避しやすくなります。

# 6. 機能アップ/要望対応

## ⑤ スクリプト編集 処理区分 (機能アップ)

### ・ Transpeed処理区分

変換パラメータ編集

連携製品(I) <製品を選択してください>

システム(S)

アプリケーション(A)

パラメータ(P)

変換でエラーが発生した場合の処理

エラー終了にする

スルーして次の行に進む

指定行に飛ぶ

直接行指定

ラベル(LABEL)指定

OK(O) キャンセル(C)

連携製品から「Transpeedデモ版」を削除しました

変換でエラーが発生した場合に、  
スクリプトエラーにする以外の選択肢を追加しました

起動された変換処理の  
戻り値を参照する予約語を追加しました。  
("TranspeedReturnValue")

# 6. 機能アップ/要望対応

## ⑤ スクリプト編集 処理区分 (機能アップ)

### ・ RUNSCRIPT処理区分



動作設定

スクリプトコード  参照

スクリプト名

最終更新日時

呼び出し先でエラーが発生した場合の処理

エラー終了にする

スルーして次の行に進む

指定行に飛ぶ

直接行指定

ラベル(LABEL)指定

パラメータ(P) OK(O) キャンセル(C)

呼び出したスクリプトで**エラーが発生した場合に、「指定行に飛ぶ」**選択肢を追加しました。

### 《補足》

今回は新たにこの処理区分を追加しました。  
従来のRUNSCRIPTは、

カテゴリ：旧製品

処理区分名：RUNSCRIPT\_OLD

に格納されています。

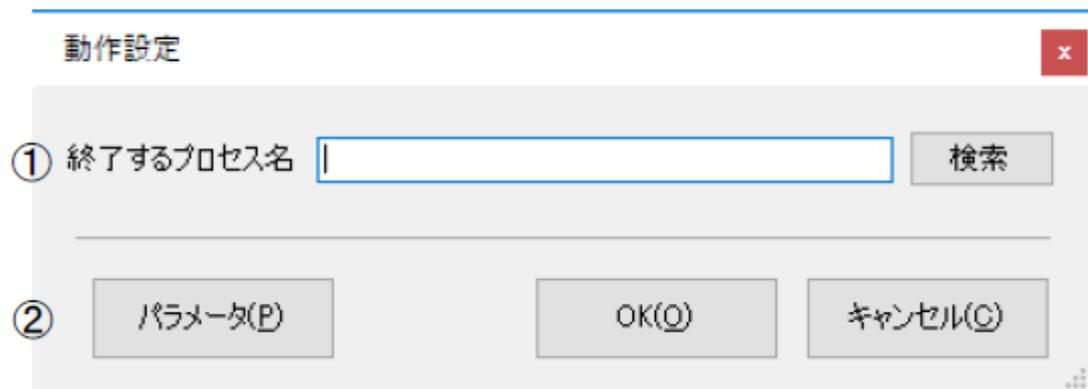
※バージョンアップ時はRUNSCRIPT\_OLDになります。

## 6. 機能アップ/要望対応

### ⑤ スクリプト編集 処理区分 (新規追加)

#### ・プロセス終了 / TASK\_KILL処理区分 拡張カテゴリ

指定されたプロセスを強制的に終了します。



#### ① 終了するプロセス名

強制終了させたいプロセスを指定します。

「検索」ボタンをクリックすると現在起動しているプロセスの一覧が表示され、そこから選択することもできます。

なお、プロセスは拡張子を指定せずにセットします。

#### ② パラメータ

『変数・ユーザー関数一覧』が出ていない場合、「パラメータ(P)」ボタンをクリックすると出てきます。

# 6. 機能アップ/要望対応

## ⑤ スクリプト編集 変数・ユーザー関数一覧

### ・予約語を7種追加

種類	予約語名	説明
スクリプト情報	%ScrLineNo%	現在の行番号
	%AutoTagIndex%	タグ自動更新にて更新された タグインデックス(IE 基本操作のみ)
	%AutoTagIndex(offset)%	タグ自動更新にて更新された タグインデックス(IE 基本操作のみ) “offset”に増減値をセット可能
その他	%Clipboard%	クリップボード(テキスト)
	%TranspeedReturnValue%	処理区分「Transpeed(TRANSPEED)」で 起動された変換処理の戻り値
	%IsError_SubScript%	処理区分「別スクリプト起動(RUNSCRIPT)」で 起動したスクリプトの再生結果
	%Return_Value%	処理区分「戻り値取得(RETURNVAL)」で 指定した戻り値

# 6. 機能アップ/要望対応

## ⑤ スクリプト編集 変数・ユーザー関数一覧

### ・パラメータデータのValueとTextコピー

「パラメータデータ」の場合はコピーの方法が2種類あります。

変数・ユーザー関数一覧

ID	項目名	別名
1	発注元	
2	発注番号	
3	出荷数	
4	出荷日	

Value コピー ... セットされているデータそのものを参照します。

Text コピー ... 見かけ上の値を参照します。

例) Excel の日付データ

2020/4/1 12:34:56

2020年4月1日

上記のようなデータの場合は以下のようなデータを参照します。

Value → 2020/4/1 12:34:56

Text → 2020年4月1日

# 6. 機能アップ/要望対応

## ⑤ スクリプト編集 スクリプト変数

### ・変数の追加

ScrLineNo

現在の行番号を参照できます。

TranspeedReturnValue

処理区分「Transpeed(TRANSPEED)」で起動された変換処理の戻り値が参照されます。

## ⑤ スクリプト編集 その他

### ・表示列の追加

エラー発生時処理	<input type="checkbox"/>
エラー発生時GOTOフラグ	<input type="checkbox"/>
エラー発生時GOTO先	<input type="checkbox"/>

- ・利用処理区分  
TRANSPEED  
RUNSCRIPT

# 6. 機能アップ/要望対応

## ⑥ タグ解析ビューア（フォーカス解析）

### 一度に複数のプロパティが取り込めるように！

プロパティ情報の取込は一度に複数の情報を取り込むこともできます。  
2つ目以降のプロパティに対して Ctrl+クリック で選択することで複数の指定が可能です。

プロパティビュー

簡易  詳細

	プロパティ	値
3	id	
4	name	UID
5	alt	タグ情報を取り込む
6	checked	プロパティ名をコピー
7	type	プロパティ値をコピー
8	value	
9	outerHTML	<input name="UID" s...
10	outerText	

「処理の詳細」画面は以下のようになり、「詳細\*」をクリックすれば選択された複数の内容を確認できます。

処理の詳細

以下のタグに対して実行する処理を選択してください

対象タグ	INPUT
対象プロパティ	name
対象プロパティ値	UID

**詳細\***

処理区分  
入力(INPUT)

この設定の取込先  
Sample\_01011\_IE\_OrderDL-CSV : サンプル\_IE

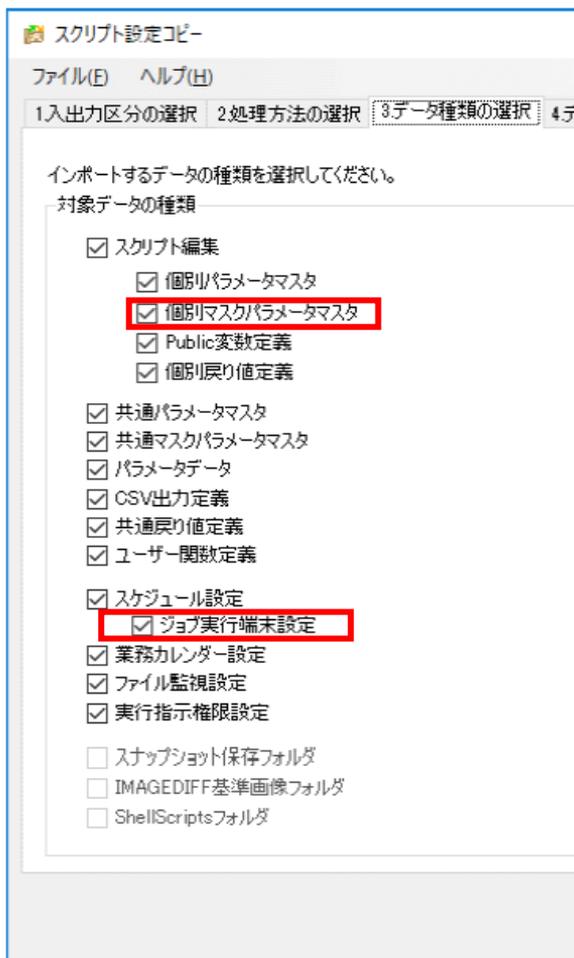
この設定の取込行  
最終行

動作設定に進む(O) キャンセル(C)

	プロパティ	プロパティ値
	name	UID
	outerHTML	<input name="UID" style="outline: rgb(33, 33, 33) 0px; width: 10...

# 6. 機能アップ/要望対応

## ⑦ スクリプト設定コピー



### ・ 選択肢の追加

個別マスクパラメータ  
ジョブ実行端末設定

# Contents

1. バージョンアップの簡易プログラム
2. 動画撮影機能（スクリーンレコーダー）の追加
3. 画像認識機能の拡張
4. フォーカス解析
5. 条件スクリプトの拡張
6. 機能アップ/要望対応
7. その他

# 7. その他

- **SEND\_MAIL処理区分**

実行版でも動作設定の内容を編集できるようにしました。

- **SQL Server**

2019 に変更しました。

- **動作環境**

Windows10、 Windows Server 2016、 Windows Server 2019

※32bit環境は廃止

Autoジョブ名人 Ver.4.0  
2020/08/24～

Autoブラウザ名人 Ver.10.0  
2020/09/07～

**是非ご検討ください！**

